

研究成果報告書

【効果的な園内研修のあり方に関する研究】

大妻女子大学 石井 章仁
千葉明德短期大学 小久保圭一郎

〔成果の概要〕

1. 研究の概要

(1) はじめに

保育所保育指針第5章では、研修の重要性が強調されている。これまでの園内研修における取り組み及び検討（日本保育学会第70回大会筆者発表）等から、これを定着させるための課題は、長時間に亘る保育の中で、①どのようにして園内研修の時間を持つか、その際②どのような視点で研修を行うかという2つであると仮定する。

本研究では、このうち「どのような視点で研修を行うか」の側面の検討をする。園内研修での議論では、「語り合い」だけでは質が高まるわけではなく、「語る」ための視点（保育を観る視点）が重要である。

また、今回行った園内研修は、保育者の「参加型」のモデルである。学びの内容、研究テーマ、園内研修で扱うテーマについては各園で選択される。しかし、時折、園の現状や保育者の意向等とのズレが見られ、学びの焦点が曖昧なものとなれば、語り合いが散漫になり、リフレクション自体が効果的でなくなる恐れがある。そこで、どのような視点で保育をとらえ、研修を行うかを確認し検討することが必要になり、その視点を確認・検討する際、より効果的なのが、第三者である「講師」の存在である。保育の質の向上のためには、研修が不可欠である。なかでも、日常的な保育実践を振り返る中で学び合う園内研修が求められている。

(2) 研究の目的

本研究では、映像を基に実践を振り返るタイプの園内研修を実践し、その効果や適切な方法を検討する。特に、保育所や認定こども園等、保育時間が長く、短時間の振り返りが求められる現場に対応する方法を検討する。

本研究は、保育実践における良さと課題を可視化する園内研修について、外部講師の役割を中心に検討するものである。具体的には、保育実践を振り返り、見直すための園内研修をどう組織的に定着させるか、その方法論を検討する。また、研究の成果として、園内研修のモデルを提案する。

2. 研究の方法

(1) 園内研修の実施

1) 園内研修の手順

園内研修はおおむね以下の手順に沿って行った。

- ① 主に午前中の保育場面について、映像・画像を講師が記録する
- ② 午後、研修の中で、映像を確認する。(確認する時間は園の状況により異なる)。この時、いくつかの場面について、子どもの姿や保育者のかかわり・援助について、質疑やポイントの解説を行う
- ③ 保育者・職員よりコメント・質疑・意見交換を行う
- ④ 映像を収めた SD カードを園に渡し、繰り返し映像を確認できるようにする。場合によっては、後日、「良さ・課題」をまとめたシートを提示し、その後の改善に向けた検討を園で行う。

研修の実施園は、以下の通りである。

千葉県 A 市公立保育所；年 2 回×5 園	千葉県 B 市私立保育園；年 5 回
千葉県 C 市私立保育園；年 2 回	千葉県 D 市公立保育所；年 3 回
千葉県 E 町公立こども園；年 2 回	千葉県 F 市公立こども園；年 5 回
東京都 G 区公立幼稚園；年 5 回	東京都 H 区私立こども園；年 5 回
* 保育所 8 園, 認定こども園 3 園, 幼稚園 1 園に対して, のべ 37 回実施した	

2) 映像の撮影方法

園内研修には、ビデオで日常の保育を撮影し、それを保育者と共に見ながら、振り返りを行う。振り返りの際、講師が視点を提示（良さ、課題）し、保育者の振り返りと保育の状況や意図の説明や指導を受けての感想などを伝え合う。

映像の撮影方法は、カメラを定点に設置するのではなく、講師が手でカメラを持ちながら撮影する。これにより、撮り手の視点をあえて入れ、後に見直したときに、講師の視点であることが伝わると考えた。

3) 園内研修用に撮影した VTR の再分析

園内研修用に撮影した VTR を再確認し、撮り手の視点の要素を抽出した。この視点については、アンケートにおいて保育者の「気づきと改善点」として、記述していただいた。

(2) アンケート調査

研修を実施した園に対してアンケート調査を実施する。配布数は、園内研修実施園(協力園)のうち、通年的な研修を実施し、かつ複数回の実施をした 8 園の保育者約 100 名に対して行った。

表 1 アンケートの項目

- | | |
|-----|--|
| I | これまでの園内研修について |
| I-1 | あなたのお勤めの園では、平成 30 年度、石井による研修を除き、園内研修を行いましたか。 |
| I-2 | 平成 30 年度の園内研修は、どのくらいの頻度で行われていましたか。 |
| I-3 | 平成 30 年度の園内研修は、どのような内容で行われていましたか。 |
| I-4 | 園内研修や会議以外に、職員同士が日常的に話したりする機会がありましたか。 |
| II | 映像による研修について |

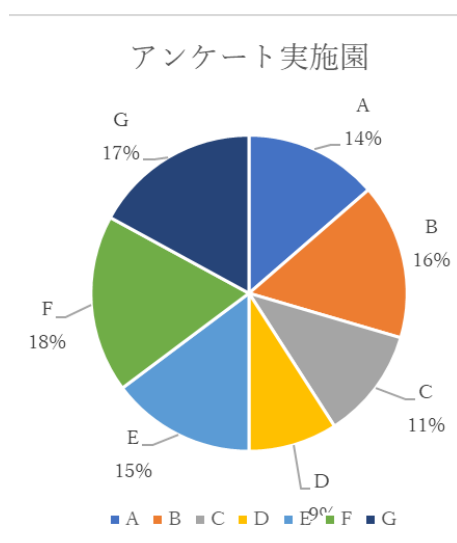
- Ⅱ-1 園内研修に、あなたの保育映像を用いたことについてどう感じていますか。
- Ⅱ-2 映像を、園内研修後どのように活用しましたか。
- Ⅲ 講師（石井）による研修について
- Ⅲ-1 講師の撮影した保育映像は参考になりましたか。
- Ⅲ-2 園内研修における講師（石井）の助言は参考になりましたか。
- Ⅳ 今後の園内研修について
- Ⅳ-1 今後こうした園内研修を継続していくなら、どのような内容を望みますか。
- Ⅳ-2 今後こうした園内研修を継続していくなら、どのような時間が適切だと考えますか。
- Ⅳ-3 今後こうした園内研修を継続していくなら、どのような時間帯に実施するのが良いと考えますか。
- Ⅳ-4 今後こうした園内研修を継続していくなら、どのような頻度で実施していくのが良いと考えますか。
- Ⅴ 保育の見直しと改善の視点
- Ⅴ-1 あなたが、平成 30 年度の園内研修によって参考になったものを 3 つ選択し、参考になった順にその番号を回答してください。
- Ⅴ-2 あなたが、平成 30 年度の園内研修によって自身の保育の気づきとなった事柄と、その後の具体的な改善について、簡潔に記述してください。
- Ⅴ-3 園内研修において、もっと深く検討・共有したかった点があればご記入ください。
- Ⅵ 自由記述 園内研修に関して、ご意見・ご要望・ご感想等、ご自由にお書きください。

3. 研究の結果

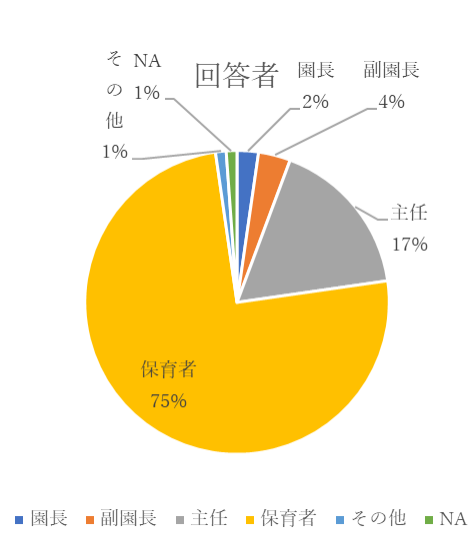
(1) アンケートの結果（概要版のため、主なもののみ以下に提示する）

1) 調査実施園は、園内研修実施園の中で、①通年に亘り②複数回実施した、園の保育者（正規・非正規含む）*7 園（n=88）を対象とした。

図表 2 アンケート実施園

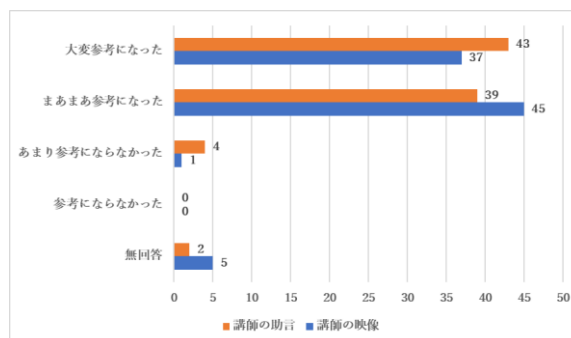
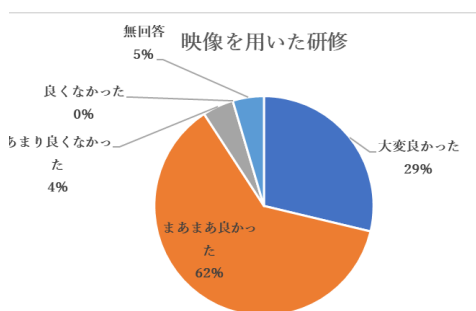


図表 3 調査対象者の職種



なお、回答者は、正規職員が 67%、非正規職員は 33%である。

図表4 映像を用いた研修について 図表5 映像と助言は参考となったか



4. 考察

(1) 映像を用いた園内研修について

映像を使うことによって、保育所や認定こども園等、保育時間が長く、研修時間が取りにくい現場であっても短時間での共有や情報交換、リフレクションが可能であることが分かった。

また、研修参加者は、概ね映像を用いることの効果や可視化された実践場面を振り返りに行かされていると認めているが、なかには撮影に対する拒否感や自身の実践について助言されることへの抵抗感を表現する者もいた。

(2) 園内研修における「保育見直し」に関わる外部講師の視点

保育の見直しの視点には、次のような要素があることが明らかとなった。

①主体的に子どもが関わる環境を構成する際の視点（遊びや生活に関して／遊びの拠点の移動場面／食事配膳場面や当番／自発的活動としての遊びの時間）、②屋内外の環境構成（コーナー／外⇄内の相互作用／園庭遊具）、③子どもの遊びを「観察する」「見守る」際の視点（幼児の戸外遊び／自然体験／異年齢交流における子ども同士の関わり／年長児の育ち／3歳未満児の模倣と再現）④保育者の関わり／援助を観る視点（障害児の援助／声かけ／活動の習慣化／環境としての保育者）

[今後の見通し]

研究助成は単年度にて終了しましたが、今年度も引き続き、保育施設等における園内研修を行っております。

また、今年度、(一社)日本事業所内保育団体連合会におけるPIQライセンス指導の講師をさせていただく際にも、この研究での成果は生かされるものと考えております。

今後は、園内研修を園内独自にいかに効果的に行うことができるかについても検討していきたいと思っております。また、保育施設のみならず、子育て支援施設などにも研修の幅を広げていきたいと考えています。

[発表学会文献等]

今年度末（2020年3月）に開催予定の日本保育者養成教育学会にて発表予定